

2025.11.17 理事会

今後の大会運営の改善に向けて～9月27日の試合をめぐる指摘を受けて～

2025.11.17

(一社) 全関西大学女子バスケットボール連盟

2025年度のリーグ戦が終了しました。各部とも熱戦が繰り広げられ、多くの皆様にご観戦いただきました。ご協力いただきました協賛企業ならびに関係各位に心より御礼申し上げます。

9月27日の大教大-京産大の試合のジャッジをめぐって、厳しいご指摘を受けました。内容は、審判のジャッジがルールブックとは異なる運用であったこと、そのことをめぐるその後の対応が不十分であったこと、などが主な内容です。

学連としては、試合結果は審判の判断を尊重すべきであるとの基本認識にたち、試合の結果やスコアを修正するものではありませんが、審判のジャッジがルールブックと異なる運用であったことを確認しました。

またその後の対応として、関係者へのヒアリングなどの点で不十分な点があったことも認識いたしました。大切な公式戦において、関係チームには忸怩たる思いを抱かせてしまう結果となりましたことを深く認識し、お詫び申し上げます。

大切なリーグ戦で、かつ、勝敗や順位を分けるような重い位置づけをもつことから、大会を主催する当学連としては、より公正でかつ適切な競技および大会運営が行われるよう、細心の注意を払って取り組むことを改めてここに表明いたします。

加えて、当学連は、いまでもなく、加盟する大学チームで構成された組織です。各大学チームが運営の主体者でもあります。引き続き、選手、スタッフはもとより、審判員、TOスタッフ、そして学連員も含めて相互にリスペクトをもちながら、よりよい大会運営、事業活動ができますよう、あらためて各大学チームにご理解とご協力をお願い申し上げます。

(以上)